

# 第125回生涯教育研修セミナー

Web配信

日時 2021年10月23日(土) 午後3:00~6:10

方法 Web配信

※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたはQRコードにて10月17日(日)までにGoogleフォームでの参加登録をお願いいたします。追って事務局よりZOOMの登録用URLをお送りします。(ZOOMの登録用URLの送付まで数日いただく場合がございます。)

<https://forms.gle/nC6abwRyBJMia3DZ7>



参加対象

慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位

日本医師会生涯教育制度参加証交付 1.5単位 カリキュラムコード 10、0、5

開会の辞

挨拶

挨拶

挨拶

生涯教育研修セミナー委員会 委員長

医学部長・慶應医学会長

慶應医師会長

三四会会長

茂松直之

金井隆典

安井正人

武田純三

テーマ

## 『疼痛診療の進歩』

我が国の慢性痛患者は2,300万人以上とも推定されています。痛みの重症化・長期化・難治化は生活の質や日常生活動作を著しく低下させ、高齢者では健康寿命の短縮を、若年世代では仕事効率の低下や就労制限を招いています。急速な少子高齢化社会を迎えている我が国では、この慢性痛対策は喫緊の重要課題となっています。一方、慢性痛は神経系や筋骨格系の器質的要因のみならず、社会的・精神心理的要因が複雑に関与するため、従来の縦割り型診療アプローチでは十分な効果が期待できないまま、断片的な鎮痛法が試みられている現実があります。欧米では、慢性痛治療の病態を多面的に分析、治療する体制の有用性が数多く報告され、本邦においても多職種による学際的な痛みの総合診療の必要性が唱えられています。慶應義塾大学病院でも2019年6月より麻酔科・整形外科・精神科・リハビリテーション科が協働しながら、慢性的な痛みを呈する疾患全般、特に有病率の高い運動器、関節疾患、神経障害性疼痛等を集学的に診断・治療する「痛み診療センター」を開設したところです。

2年前に台風19号の影響で流会となったこの課題を改めて取り上げ、疼痛制御の基礎医学の進歩から臨床応用にわたる『疼痛診療の進歩』について講演頂きます。

モデレーター

慶應義塾大学医学部麻酔学教室 教授

森崎 浩

## 1. 『慢性疼痛に対する学際的痛み診療 Up to date』

慶應義塾大学医学部麻酔学教室 准教授  
慶應義塾大学病院 痛み診療センター長

小杉志都子

## 2. 『痛みやストレスの制御がもたらす生体内免疫機構に対する影響：痛みストレス病態センシングの解析』

星薬科大学薬理学研究室 教授  
国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野 分野長

成田 年

## 3. 『慢性痛に対するマインドフルネス認知療法』

慶應義塾大学医学部 准教授  
慶應義塾大学病院医療安全管理部 副部長

藤澤 大介

挨拶

挨拶

大正製薬ホールディングス株式会社 代表取締役社長

上原 明

慶應義塾常任理事

北川 雄光

次回予定 2022年2月12日(土)開催

共催 慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会  
慶應医師会  
慶應義塾大学医学部三四会  
慶應医学会  
大正製薬株式会社

連絡先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地  
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局  
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail:med-somu-3@adst.keio.ac.jp